

高速横浜環状北西線

都市計画素案

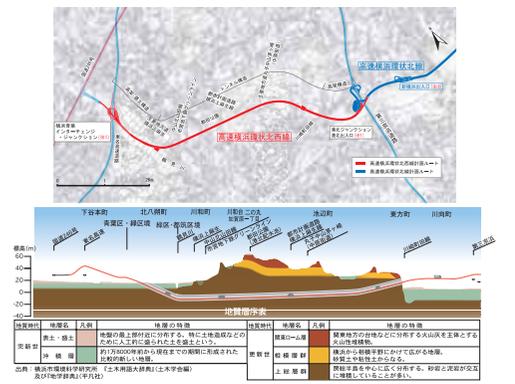
高速横浜環状北西線とは

高速横浜環状北西線の計画概要
 高速横浜環状北西線は、青葉区下谷本町を起点とし、都筑区川向町を終点とする延長約7.1kmの自動車専用道路であり、東名高速道路（横浜青葉インターチェンジ・ジャンクション⁽⁸⁰⁾）と第三京浜道路（港北ジャンクション⁽⁸¹⁾）を結ぶ路線です。
 現在事業中の高速横浜環状北線と一体となり、市北西部と横浜市中心部・海岸エリアの連絡強化等を図るものです。
 延長約1.1kmのうち、トンネル構造の延長は約1.1kmとなります。
 また、トンネルの両坑口付近に1ヶ所ずつ換気扇を設置することを計画しています。



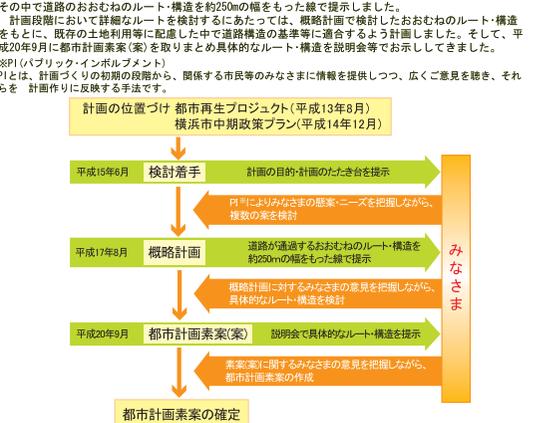
道路種別	自動車専用道路
名称	横浜青葉区下谷本町
道路延長	約7.1km （うちトンネル区間約4.1km）
標準幅員	20m
車線の数	4車線
計画年度	14年度（平成26年）
設計速度	50km/h
都市計画決定権者	神奈川県
事業予定者	横浜高速道路株式会社

※ 名称は仮称です。



今までの取組概要と主な意見 (Q&A)

今までの取組概要
 横浜市では中期政策プラン等に基づき、平成15年6月から北西線の計画検討に着手しました。計画づくりにあたっては、構想段階において「パブリックインボルブメント⁽⁸⁾」を導入して検討を行ってまいりました。この構想段階で検討してきた内容をとりまとめたものとして、平成17年8月に「概略計画」を公表し、その中で道路のおおむねのルート・構造を約250mの幅をもった線で提示しました。
 計画段階において詳細なルートを検討するにあたっては、概略計画で検討したおおむねのルート・構造をもとに、既存の土地利用等に配慮した中で道路構造の基準等に適合するよう計画しました。そして、平成20年9月に都市計画素案（案）を取りまとめ具体的なルート・構造を説明会等でお示ししました。
 ※PI（パブリックインボルブメント）とは、計画づくりの初期の段階から、関係する市民等のみなさまに情報を提供しつつ、広くご意見を聴き、それらを計画づくりに反映する手法です。



都市計画素案(案)の説明会開催状況

都市計画素案(案)について、主に関連する区(都筑区・青葉区・緑区)で説明会を開催しました。また、都市計画素案(案)の閲覧及び意見募集等を行い、多くのご意見をいただきました。
 ①高速横浜環状北西線・北線(港北JCT)及び関連する街路の都市計画に係る説明会を開催しました
 ②都市計画素案(案)の閲覧を行いました
 【閲覧および意見の受付期間】
 平成20年9月30日(火)～平成20年10月14日(火)
 【閲覧会場場所】
 横浜市道路局事業調整課及び区役所区政推進課
 緑区庁(青葉区・緑区・都筑区・港北区)
 【集客数】
 意見数 17通(北線・関連する街路も含む)

手続きの流れ



1. 都市計画素案の閲覧及び公衆出展の受付

期間	場所	開催時間
平成21年3月30日(月)～平成21年4月2日(月) (土日を除く)	神奈川県庁 都市計画課 〒231-8588 横浜市青葉区中央大通り新庁舎11階 TEL: 045-671-2652 FAX: 045-644-7707 http://www.pref.kanagawa.jp 045-671-2652 http://www.city.yokohama.jp/meshi/kaku/cityplan/	午前8時30分～午後5時15分
	横浜青葉区役所 都市計画課 〒231-0202 横浜市青葉区青葉1-1-1 TEL: 045-671-2652 FAX: 045-644-7707	午前8時45分～午後5時15分

※各区役所の区政推進課でも、都市計画素案を閲覧することができます。青葉区、緑区、都筑区、港北区、神奈川区、保土ヶ谷区(3月20日～4月20日の間の土・日を除く)を除く。平日午前9時～午後5時(午後5時30分～午後6時30分)まで閲覧いただけます。
 ※公衆出展の受付は、当該開催場所で行われ、また上記ホームページでも受け付けております。
 ※公衆出展の受付は、当該開催場所で行われ、また上記ホームページでも受け付けております。
 ※公衆出展の受付は、当該開催場所で行われ、また上記ホームページでも受け付けております。

2. 公衆出展の受付

開催日時	開催場所	開催時間
平成21年3月30日(月)～平成21年4月2日(月)	神奈川県庁 都市計画課 〒231-8588 横浜市青葉区中央大通り新庁舎11階 TEL: 045-671-2652 FAX: 045-644-7707	午前8時30分～午後5時15分
	横浜青葉区役所 都市計画課 〒231-0202 横浜市青葉区青葉1-1-1 TEL: 045-671-2652 FAX: 045-644-7707	午前8時45分～午後5時15分

※公衆出展の受付は、当該開催場所で行われ、また上記ホームページでも受け付けております。
 ※公衆出展の受付は、当該開催場所で行われ、また上記ホームページでも受け付けております。
 ※公衆出展の受付は、当該開催場所で行われ、また上記ホームページでも受け付けております。

目的と整備効果

混雑緩和や信頼性向上を図るとともに、沿道環境の改善と経済活動の活性化が必要です

横浜市を通る東名高速道路や第三京浜道路、首都高速横線や海岸線といった主要な道路は東京を中心とした放射状に位置しています。ところが、市内においてはこれらを経由する道路が不足しているため、保土ヶ谷バイパスや周辺道路に交通が集中し、沿道環境に影響が及ぶとともに、道路ネットワークの信頼性、市北西部と横浜市中心部・海岸エリアの結びつきにも影響があり、市域経済にも影響が及んでいます。こうした課題に対し、早急に対処することが必要です。

北西線の目的 ① 市北西部と横浜市中心部・海岸エリアの連絡を強化すること

現在事業中の北線と一体となり、市北西部と横浜市中心部、横浜港等の海岸エリアの連絡が強化され、交通の利便性向上や沿道環境の改善が期待できます。



北西線の目的 ② 保土ヶ谷バイパスに集中する交通を分散し、混雑緩和を図ること

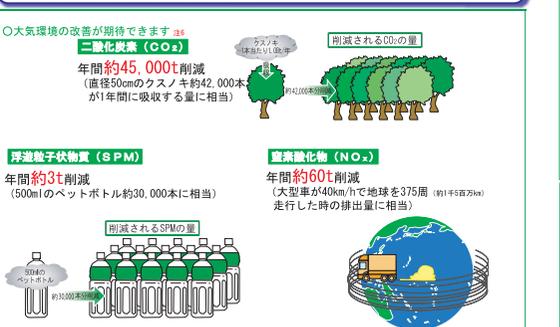
横浜市中心部において、東名高速道路、第三京浜道路、首都高速横線や海岸線といった縦断方向の道路を結ぶ主要な幹線道路は保土ヶ谷バイパスだけであることから、保土ヶ谷バイパスに交通が集中し、様々な交通問題が生じています。

現状の保土ヶ谷バイパス(817年) 将来の保土ヶ谷バイパス(832年)



北西線の目的 ③ スムーズな走行により大気環境を改善すること

混雑による走行速度の低下により、自動車から排出される大気汚染物質が増え、環境に与える影響が大きくなります。
 北西線を整備することで道路ネットワークが安堵すると、保土ヶ谷バイパス等の混雑が緩和され、スムーズな走行が実現し、これにより二酸化炭素(CO₂)、窒素酸化物(NO_x)、浮遊粒子状物質(SPM)の排出量の削減など、大気環境の改善が期待できます。



北西線の目的 ④ 道路ネットワークの信頼性を高めること

東名高速道路と海岸エリアを結ぶ保土ヶ谷バイパスにおいて、ひとたび事故や災害による通行止めが生じれば、保土ヶ谷バイパスから周辺道路に大量の交通が流出し、たちまち市域の道路ネットワークに重大な支障が生じます。

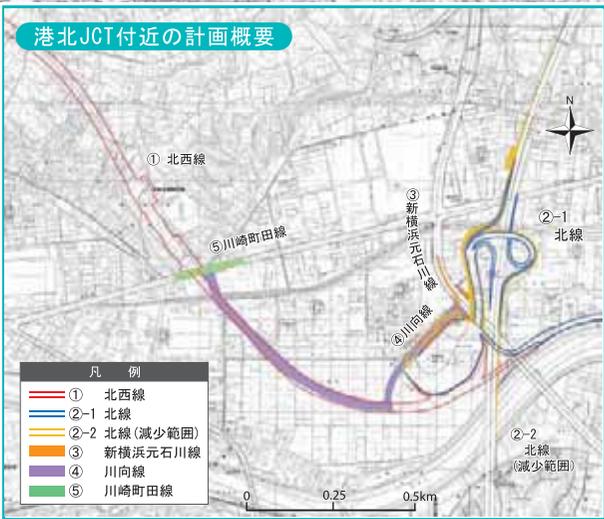
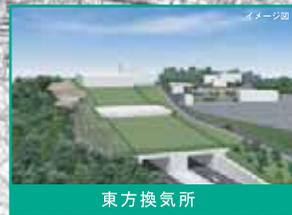
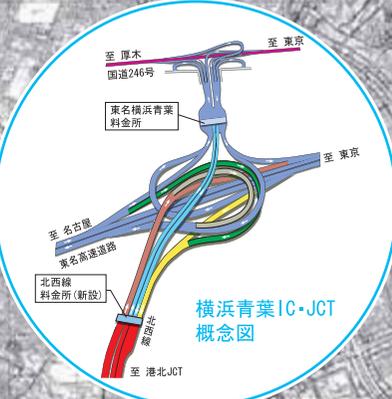
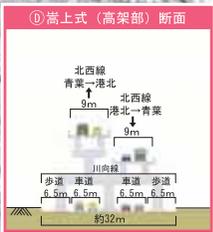
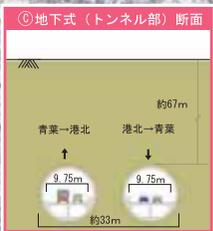
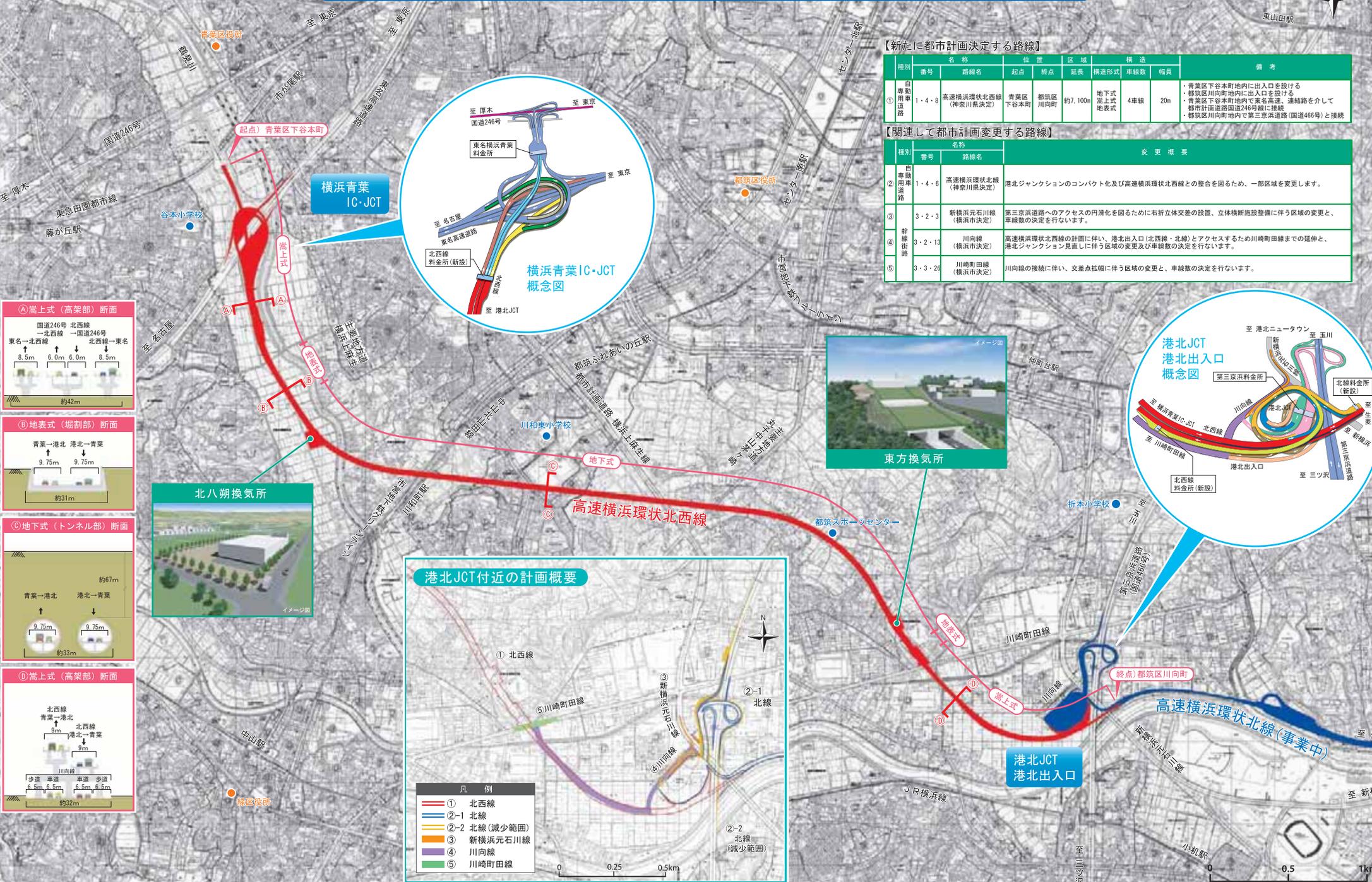


都市計画素案(案)に関する主な意見(Q&A)

要約した質問、意見	質問、意見に対する見解
1. 事業・計画について 北西線市計画素案案について交通量、事業費、高速料金等の予測、アットホームな環境効果を出すべき。 概略計画で、北西線の整備が都区内の南北大動脈となることが、社会的経済的効果(促進)など、効果の具体的な予測について説明したいと考えています。 事業費、横浜市、神奈川県の出資の割合はどのようになるのか。 併設されるであろう横浜環状西線について、現状はどうか？	今後、事業を進める中で、北西線整備に伴う効果効果について、ご説明してまいります。 概略計画については、国土交通省が平成19年に公表した「費用便益分析」を踏まえ、社会的経済的効果(促進)など、効果の具体的な予測について説明したいと考えています。 横浜西線と都高高速道路株式会社事業予定者による、事業主体や出資の割合については後述のとおり、未定です。 横浜環状西線については、現時点では具体的なルート、構造について、お示しできません。今後、本市の都市計画と道路ネットワークの整備を進めるため、社会的経済的効果(促進)など、効果の具体的な予測について説明したいと考えています。
2. 都市計画手続き関連 意見書を受け取る期間が短く、またその告知が不十分で、お金のかけず告知する通知を絞って欲しい。 一般に説明会は平日に行われるようだが、会員は参加できないので休日に開催してほしい。 意見書を受け取る期間が変更になり、せめて1ヶ月くらいに変更してほしい。 素案の閲覧は3日の区役所や道路局だけで、期間も土日祝を除く3日間、4日～7日(土日祝を除く)の開催でのみ行われている。北線の土曜日も多く開く時間も長かったが、なぜ北線の土曜日も開くのか？	都市計画法に基づき手続きとなります。2週間の図書の閲覧期間と、意見書の提出期間を併せて、また、開館につきましては広域(ほぼ全市域)でみなさまにお知らせしております。 今回の素案(案)の閲覧に先立ち、北西線の沿線の自治会、町内会での説明会、地元のみなさまのご要望に合わせて、平日の夜間や休日の説明会を開催いたします。 素案の閲覧は3日の区役所や道路局だけで、期間も土日祝を除く3日間、4日～7日(土日祝を除く)の開催でのみ行われている。北線の土曜日も多く開く時間も長かったが、なぜ北線の土曜日も開くのか？
3. 環境への影響について 北八朗換気扇からの騒音については、騒音対策が既に行われていることなど、具体的な対策を説明してほしい。 大気汚染物質の排出量については、北西線の整備による影響を評価してほしい。 換気扇における騒音対策は実施されているのか、設置に向けての問題は？ 換気扇における騒音対策は実施されているのか、設置に向けての問題は？ 大気汚染物質の排出量については、北西線の整備による影響を評価してほしい。 換気扇における騒音対策は実施されているのか、設置に向けての問題は？	トンネル内空気は、換気により室外空気より低減させるなどの事業計画の取組を行います。その結果、二酸化炭素、浮遊粒子状物質など、最大音圧は平成14年度一般道路の測定値と比較し、約10分の1以下、約10分の1以下に低減される影響は期待されています。また、トンネル内空気は、換気により室外空気より低減させるなどの事業計画の取組を行います。 換気扇における騒音対策は実施されているのか、設置に向けての問題は？ 換気扇における騒音対策は実施されているのか、設置に向けての問題は？ 大気汚染物質の排出量については、北西線の整備による影響を評価してほしい。 換気扇における騒音対策は実施されているのか、設置に向けての問題は？
4. 用地収用、補償関連 立ち退きに関する補償を受けたいので、補償金額の算定方法が不明確な点について、補償金額の算定には、近隣に生かせる土地の適度な開発を促してほしい。 用地収用の補償に関する点について、後述の土地利用計画が出ている(用途を定めること)は、換気扇の基礎については、換気扇の基礎を十分確保してほしい。 その他のご意見等は、ホームページをご覧ください。http://www.ktr.mit.go.jp/yokohama/nw/line/	用地収用の補償については、都市計画決定された後に詳細な設計や測量を実施し、概算に相当する補償額を算定いたします。 用地収用の補償に関する点については、都市計画決定された後に詳細な設計や測量を実施し、概算に相当する補償額を算定いたします。 その他のご意見等は、ホームページをご覧ください。http://www.ktr.mit.go.jp/yokohama/nw/line/

高速横浜環状北西線等 都市計画素案

(高速横浜環状北西線・高速横浜環状北線・新横浜元石川線・川向線・川崎町田線)



【新たに都市計画決定する路線】

種別	番号	名称	位置	区域	延長	構造形式	車線数	幅員	備考
① 自動車専用道路	1・4・8	高速横浜環状北西線(神奈川県決定)	青葉区下谷本町 都筑区川向町	約7.100m	地下式 嵩上式 地表式	4車線	20m	青葉区下谷本町地内に出入口を設ける 都筑区川向町地内に出入口を設ける 青葉区下谷本町地内で東名高速・連絡路を介して都市計画道路国道246号線に接続 都筑区川向町地内で第三京浜道路(国道466号)と接続	

【関連して都市計画変更する路線】

種別	番号	名称	変更概要
② 自動車専用道路	1・4・6	高速横浜環状北線(神奈川県決定)	港北ジャンクションのコンパクト化及び高速横浜環状北西線との整合を図るため、一部区域を変更します。
③ 幹線街路	3・2・3	新横浜元石川線(横浜市決定)	第三京浜道路へのアクセスの円滑化を図るために右折立体交差の設置、立体橋断施設整備に伴う区域の変更と、車線数の決定を行ないます。
④ 幹線街路	3・2・13	川向線(横浜市決定)	高速横浜環状北西線の計画に伴い、港北出入口(北西線・北線)とアクセスするため川崎町田線までの延伸と、港北ジャンクション見直しに伴う区域の変更及び車線数の決定を行ないます。
⑤ 幹線街路	3・3・26	川崎町田線(横浜市決定)	川向線の接続に伴い、交差点拡幅に伴う区域の変更と、車線数の決定を行ないます。

※図中のIC:インターチェンジ、JCT:ジャンクション、出入口、換気所の名称は仮称です。